



平成 25 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 アニコム ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小森 伸昭  
(コード：8715 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役経営企画部長 須田 一夫  
(TEL. 03-5348-3911)

## 平成 26 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月8日に公表した平成26年3月期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想 (A)	8,653	417	263	15 円 33 銭
今回修正予想 (B)	8,849	300	186	10 円 81 銭
増減額 (B-A)	196	△116	△76	—
増減率 (%)	2.3	△27.9	△29.1	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期 第2四半期)	7,939	498	390	23 円 38 銭

#### 2. 平成 26 年 3 月期通期業績予想の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想 (A)	18,136	1,010	637	37 円 12 銭
今回修正予想 (B)	18,216	710	443	25 円 70 銭
増減額 (B-A)	80	△300	△193	—
増減率 (%)	0.4	△29.7	△30.4	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	16,186	837	640	38 円 07 銭

#### 3. 通期業績予想修正の理由

当社グループの中核子会社であるアニコム損害保険株式会社において、ペット保険の新規契約獲得が予想を上回るペースで推移する見通しとなったことから、経常収益を上方修正しております。また、前期から継続して実施している損害率改善施策の効果が発現した結果、当第2四半期連結累計期間におけるE/I損害率<sup>注1)</sup>は69.4%となり、前年同期の69.5%から0.1Pt改善しております。

一方、一部の損害率改善施策で効果の発現が当初の想定より遅行していることや、保険利用頻度が想定より若干増加していること等により、前回予想の平成26年3月期通期E/I損害率64.4%の達成がやや困難な状況となってきたことから、同通期E/I損害率を66.2%に修正いたしました。

なお、修正後の通期E/I損害率は前年実績E/I損害率67.5%から1.3ptの改善を見込む計画であります。

事業費率については、継続的な業務改善活動効果の発現や、好調な保険引受による規模の経済効果もあり、前回予想の28.8%から0.7pt改善の28.1%に修正いたしました。

以上に基づき、コンバインド・レシオ<sup>注2)</sup>を前回予想の93.2%から94.3%に修正した結果、経常利益及び当期純利益を下方修正しております。

当第2四半期連結累計期間および当期の通期修正予想のいずれにおきましてもコンバインド・レシオ(E/Iベース)は前年同期比で改善しているものの、異常危険準備金につきまして、前期はアニコム損害保険株式会社にて保険引受を開始した平成21年3月期以降、平成24年3月期まで継続的に繰り入れられていた異常危険準備金残高全額である783百万円が戻入益として計上されていたことから、利益に対する大きなプラスのインパクトがありました。一方、当期におきましては、平成25年3月期に計上した異常危険準備金繰入額が戻入の限度額となるため、前年通期実績から35.5%減の505百万円が戻入益として計上されるにとどまることから、保険引受に係る利益構造は改善しているものの、連結ベースでの業績では前期実績と比較し、減益となっております。

参考までに、ペット保険引受事業による実質的な損益を表す当社グループ独自の指標である修正利益<sup>注3)</sup>は、以下のとおりとなっております。

**【修正利益の推移】**

	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期 (予想)
	百万円	百万円	百万円	百万円
経常利益	343	337	837	710
異常危険準備金影響額	348	△58	△278	70
資産運用収支	△85	△78	△261	△110
その他収支	143	144	121	29
修正利益	749	345	419	699

注1)E/I 損害率:

発生ベースでの損害率。

(正味支払保険金+支払備金増減額+損害調査費)÷既経過保険料にて算出。

注2)コンバインド・レシオ:

E/I 損害率+正味事業費率にて算出する指標。

平成25年11月6日に開示した2014年3月期第2四半期(中間期)決算補足説明資料3ページ、16ページの⑤E/I 損害率+正味事業費率に該当。

注3)修正利益:

ペット保険引受事業による実質的な損益を表す当社グループ独自の指標。

経常利益±異常危険準備金影響額±資産運用収支±その他収支にて算出。

4. その他

業績予想の修正および前年実績と比較した利益の内訳等の詳細につきまして、平成25年11月6日開示の「第2四半期決算補足説明資料」に記載しております。

(注)上記の業績予想は本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって、予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上